

和光市環境づくり市民会議 第126回定例会議事要録

日 時 平成28年7月19日(火) 15:00~16:00

場 所 市役所402会議室

出席者 8名 峯岸正雄 高橋勝緒 高橋絹世 芝勝治 渡辺康三 新井昭夫
松田廣行 小林新

傍聴者 なし

事務局 和光市環境課 大野課長、工藤課長補佐、工藤主査、金岡

概 要

議題

(1) 和光市環境マップについて

今年度の行政提案型協働事業としてNPO法人和光・緑と湧き水の会と市が協働で「和光市自然環境マップ」を製作している。地図の仕様はA2サイズの両面印刷とし、持ち歩く時に見やすいように地図はA3サイズとした。地図の隣には、緑地・湧水のポイントとして、34か所をピックアップし、中でも重要な地点15、6か所については、解説も入れている。すべてのポイントに解説を入れられたらよいのだが、紙面の都合上このような形になっている。

裏面は、和光の環境について8つの項目を挙げ、解説している。和光市の環境の魅力は何だろう、興味を持ってもらえるものは何だろうと考えて、選んでいる。いろいろな項目を載せることで、興味を持つ人が、興味のあるところだけでも読んでもらえたらいいと思っている。

地形と地質についてはあまり他の資料には出てこないのを入れていた。以前は地質に興味のある人は少なかったが、震災後は自分の土地の地層などに興味がある人が増えた。貴重植物については、県指定の絶滅危惧種や準絶滅危惧種を選び載せている。詳しく記載すると乱獲等の危険もあるので簡潔に掲載した。また、和光市に貴重な野草が多い理由をカタクリを例に挙げ解説している。和光の小さな生き物たちについては、子ども達の興味の対象として掲載した。身近な自然の保護については、都市部の自然は手入れをしないとゴミ捨て場や外来種の生える荒地になってしまうので、保全の大切さを記載している。その他にも入れたい項目があるが、紙面は限られているので精査しているところである。

全体的なレイアウトについては、写真を多く入れてきれいに見せるようにしている。全体的に少し硬いので、イラストを増やしたり、わこうっちなどのキャラクターを入れてやわらかくしたいと思う。

市のマップ作成の目的としては、「どのあたりにどんな緑地があるか、湧水がどの程度あるかなどが把握でき、和光市の自然環境の全容がつかめるようなマップとし、裏面では特徴的な自然についてももう少し深く理解ができるように解説を入れ、これを見た市民が、実際に見てみたい、大切に守りたいと思えるようにしたい」とある。こ

のことについては概ね要望を満たしていると思うが、もう少し深く理解させる部分と易しい内容とする部分とで兼ね合いが難しい。

- ・和光をまったく知らないけれど、マップを見ることで親しみを感じてもらえるように、理解を深めるきっかけづくりのための資料としたい。親しみやすいガイドとしたい。行政としては、専門的なところを深く掘り下げるよりも、最大公約数をとる部分が多くあるので、そのあたりはご理解いただきたい。一方で、理解を深めることも重要なテーマなので、バランスを重視している。本事業は協働事業なので、マップ作りを通して行政と市民団体との理解がさらに深まれば良いと思う。また、作成だけでなく、マップ作成後の活用が非常に重要と考えており、今後、皆様の団体のフィールドワーク等に活用していただければと思う。事務局としても、作成の経過と併せて活用方法について検討したい。
- ・生徒との接触も多いので活用したいと思う。完成が楽しみである。

(2) その他

○ 第2次和光市環境基本計画実行計画【改訂版】について

環境づくり市民会議での審議内容を踏まえて修正を行い、決裁を経て策定した。

今後は、改訂した実行計画に示された環境施策の実施状況について関係各課からの回答の取りまとめを行う。その評価については9月の会議で審議をお願いし、12月までにまとめていただきたい。

○ 和光市の太陽光発電システム普及の現状について（松田氏より）

今年4月からの電力自由化に伴う最近の電力事情の話があった。

○ 次回の会議について

次回の市民会議は9月28日（水）午後3時から603会議室にて開催。